

人間情報学専攻

多彩なテーマで院生と教員が活発に議論

専攻の紹介

人間情報学研究科は教養学部を母体とする大学院であり、ダイナミックに変容する現代社会をさまざまな切り口から捉え、学際性の高い実践的教育研究をおこなっています。

前期課程の大学院生は、社会（社会学、教育学系）、行動（心理学、体育学系）、生命・コンピュータ科学（情報科学系）、地域（環境科学、人文地理、地域構想系）のいずれかを主たる研究領域とし、また自然科学系、人文科学系の諸科学から、基礎的な分野についての幅広い支援を受けて研究をおこなっています。その核となるのは人間情報学演習であり、多彩な研究分野のスタッフからなる教員チームが指導にあたり、学際的な研究を実のあるものに行っています。

後期課程では主として人間情報学演習と論文指導により研究を深めますが、ここでも複数の教員からなるスタッフが様々な角度から学際的な指導をおこないます。

本研究科のもうひとつの特色は、社会人にも広く門戸を開いている点にあります。社会の現場における様々な課題を研究テーマとし、より実践的な研究がおこなわれます。そのため、現役の社会人が履修しやすいよう土曜日を活用するなど、柔軟な時間割が組まれます。院生には大学、研究所、学校等に在職している研究者や教育者などに加え、会社員や公務員、さらには現役を退いてから入学した方や主婦なども含まれるため、演習などでは院生と教員が多様な視点から活発な議論を展開しています。

理念・目的

人間にとって真に望ましい情報化社会の創造を目的として、人間情報学の高い専門性の修得とともに人間ならびに人間を取り巻く種々の環境への深い洞察力を涵養し、幅広い視野から実社会の諸問題の解決に学際的、独創的に貢献する専門家を育成する。

教育目標

- ①学際性の重視：社会情報学、行動情報学、生命・情報学、地域情報学のカリキュラムに基づいて、多様な専門領域の有機的連携を重視した学際性の高い教育研究を行う。
- ②社会貢献：望ましい情報化社会の実現に貢献する教育研究機関として、社会の要望に応える。
- ③知の実践的統合：地域社会の諸課題に取り組む社会人など、幅広い経験や背景を持つ者も大学院学生として受け入れ、知の実践的統合を促進する。

教員からのメッセージ

数学

さとう あつし
佐藤 篤 准教授

人間情報学研究科の大きな特徴は、社会科学、情報科学、環境科学、言語科学、スポーツ科学といった幅広い研究領域をカバーし、複数教員の指導体制によって多角的な視野から人間、社会そして環境に関わる研究に取り組めることにあります。また、社会人に対して広く門戸が開かれており、これまでも多くの院生が学びながら研究に取り組んできました。

私の専門は、数学の「楕円曲線の数論」という分野です。数論は「数学の女王」とも呼ばれ、長い間「美しいが役に立たない」と言われていました。ところが、コンピュータや情報ネットワークの発展に伴って、素数をはじめとする数論の研究対象はわたしたちの生活に密接に関わるものになりました。数学の美しさや数学的な考え方をよく理解し、大学院で学んだことをさまざまな形で社会に還元できる人を世に送り出せたらと考えています。

2年間という限られた時間のなか、研究テーマをめぐる議論、実験、データ分析、学会発表というプロセスを経ての論文作成には苦勞を伴うことも多いでしょうが、本研究科のさまざまな領域の教員や院生とともに、研究する楽しさを知っていただければと思います。

卒業生のコメント

令和3年度
博士課程前期課程2年に へい やすひろ
二瓶 泰裕 さん

私は、社会人として働きながら数学の最先端に触れてみたいという理由で、本大学院へ進学しました。大学を卒業後、数学の教員として働いていましたが、「さらに深く数学を学びたい」という思いが年々強くなり、正規の職員として働きながらも専修免許を取得し数学の研究ができる機関はないのかと情報収集をしたところ、本研究科の存在を知りました。社会人学生として本当にやっていけるのか少なからず不安はありましたが、指導教員である佐藤篤先生や学務担当の方々には入学する前から親身に対応していただき、安心して入学することができました。平日の夜や土曜日に講義を開講してもらい、社会人でも学びやすい柔軟な時間割を組んでいただいております。時間のやりくりは大変ですが、先生方の丁寧な指導のおかげで意欲的に取り組むことができました。私の研究内容は「楕円曲線」という種数1の非特異射影代数曲線の周辺分野です。最近では、整数論の最先端への応用だけでなく情報化社会を支える暗号技術などにも用いられていて、それには楕円曲線の不思議な性質が背景にあります。今後はさらに「楕円曲線」を軸に数論や暗号理論の理解を深め、研究を進めていきたいです。



研究領域／研究分野

行動情報学領域

- ・心理に関わる分野
行動情報心理学、適応行動学、社会心理学、安全行動情報学、組織心理学、健康行動学、教育工学、認知心理学、人間科学
- ・スポーツに関わる分野
スポーツ科学、スポーツ生理学、健康体力統計学、運動免疫学

社会情報学領域

- ・社会に関わる分野
応用社会学、情報社会学、社会教育学、社会情報システム論、生活情報システム論、社会統計学
- ・地域に関わる分野
地域情報学、地域社会論、地域政策論、地域産業論、地域福祉論

生命・情報学領域

- ・生命とコンピュータ科学に関わる分野
応用情報学、インターフェイス、コンピュータシステム演習、マルチメディア情報処理、コンピュータネットワーク、生体情報学、生体情報処理系、記号処理論、言語情報処理論、計算と論理、数理情報科学、フラクタル、複雑系の科学、数理統計学、代数学、幾何学、データベース
- ・環境に関わる分野
大気・水環境論、地表環境論、生態学、地球環境史、地球環境論

担当教員・研究テーマ

■哲学

アリストテレスを中心とした古代ギリシア哲学、現代分析哲学

■社会教育学

生涯学習支援システムに関する研究

■教科教育学

多文化共生を目指すシティズンシップ教育についての理論的研究

■教育哲学

教育の意味と起源に関する人間学的研究

■教育社会学、社会統計学

健康格差、高等教育、性行動、計量歴史社会学

■家族社会学

既婚女性の出生・就業行動

■文化社会学

メディア文化、産業の調査研究

■計量社会学

不平等・社会階層に関する計量的研究

■数理社会学

集合行動、メディアコミュニケーションのネットワーク分析

■発達心理学

大学生のキャリア選択における動機づけの役割

■臨床心理学

不安障害・うつ病に対する認知行動療法

■視覚心理学

人間の興行知覚の解明

■認知心理学

日常行動の認知心理学的分析

■社会心理学

交渉における認知や感情の働き

■臨床健康心理学

慢性疾患を有する者の心理に関する研究

■スポーツ科学

運動生理学 特殊環境下における運動時の呼吸循環機能の研究

■スポーツ科学

健康体力統計学 身体活動および運動パフォーマンスの測定・評価方法の研究

■運動免疫学

運動やストレスが免疫機能に及ぼす影響と健康

■応用健康化学、発育発達学

子どもの生活習慣の評価とそのヘルスプロモーションに関する研究

文 景楠

水谷 修

坪田 益美

紺野 祐

片瀬 一男

仙田 幸子

小林 信重

神林 博史

鈴木 努

萩原 俊彦

金井 嘉宏

櫻井 研三

加藤 健二

福野 光輝

東海林 渉

千葉 智則

高橋 信二

坂本 讓

岡崎 勲造

■教育工学

情報技術を用いた授業設計、学習環境のデザインに関する研究

■理論言語学

生成文法理論に基づいた自然言語の統語論と意味論

■日本語教育・日本語学

日本語音声教育に関する研究

■情報科学

エージェント指向IoT (Internet of Things) システムの研究

■情報科学

OSS を中心にしたネットワーク及びセキュリティ

■情報科学

自律分散システム論 群ロボットシステム

■情報科学

分散環境を活用した創造性支援

■情報科学

ネットワーク分散システム

■情報科学

構造化P2Pネットワーク、センサーと小型端末を用いた生活支援システム

■情報科学

自然言語処理技術のウェブサービスへの応用

■情報工学

コンピュータ設計などを支援するソフトウェア研究

■生体情報学

生物言語学

■生物情報科学

神経ネットワークによる情報処理、情報表現

■生命情報学、感覚受容

生物における情報の受容機構の解明

■天文学

X線天文衛星を利用したブラックホールなど高エネルギー天体の観測

■代数幾何学

代数曲面の構造と不変量の研究

■数学

代数群と量子群の表現論

■数学

楕円曲線の数論

稲垣 忠

岸 浩介

房 賢嬉

高橋 秀幸

乙藤 岳志

菅原 研

杉浦 茂樹

坂本 泰伸

武田 敦志

松本 章代

伊藤 則之

松尾 行雄

牧野 悌也

土原 和子

村上 弘志

石田 弘隆

小林 善司

佐藤 篤

■数学

微分方程式の解の挙動と構造の解明

■数学

エルゴード理論と確率過程

■農村社会学、理論社会学

①農山村における高齢者の生活実態に関する研究
②贈与論の理論的視点からの地域社会学

■文化人類学

東南アジア諸社会および現代日本社会の文化人類学的研究

■人文地理学

農山漁村や地方都市の地域性変容に関する研究

■人文地理学

都市や産業の地域構造に関する研究

■経済地理学

先端技術産業の地域的立地についての研究

■アジア経済論

アジア諸国における雇用創出に関する研究

■地域福祉学

財政分析による民生費を中心とした市町村合併効果の測定

■社会福祉学、障害者福祉、NPO・ボランティア活動

わが国における福祉市民活動の現状と課題

■植物生態学・景観生態学・環境教育

生態系評価に基づくヒトと自然の持続可能なかわりに関する研究

■津波工学、海岸工学

津波発生リスクと地域の脆弱性評価に関する研究

■自然地理学

自然環境の保護・保全

■組織心理学

企業の人的資源管理と従業員の態度・行動

■健康心理学、臨床心理学、パーソナリティ心理学

心身の健康に関連する信念体系やパーソナリティ特性、治療者・患者関係等援助における人間関係

■自然地理学、地形学

河川、海岸域の地形形成と古環境変動に関する研究

星野 真樹

岩田 友紀子

佐久間 政広

津上 誠

高野 岳彦

岩動 志乃夫

柳井 雅也

楊 世英

増子 正

大澤 史伸

柳澤 英明

目代 邦康

小林 裕

堀毛 裕子

松本 秀明